



邑樂中學校
学力向上計畫

Welcome to
Ohra junior high school

学力向上計画

1 生徒の実態

平成十八年度体育祭スローガン

あきらめない！それが我等の
邑中魂



体育祭や合唱コンクール
など意欲的に取り組む。

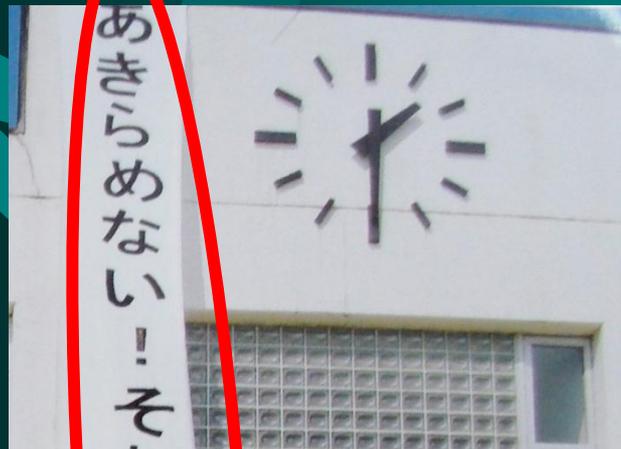


あきらめない！それが我らの**邑中魂**



学力向上計画

1 生徒の実態



「あきらめない」の精神は、
部活動にも広がる。
邑中魂 → あきらめない



学力向上計画

1 生徒の実態



全国学力・学習状況調査 生徒質問紙より

- 物事を最後までやり遂げて、うれしかったことはありますか

95.3%が、当てはまると回答

- みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか

86.6%が、当てはまると回答

学力向上計画

1 生徒の実態

全国学力・学習状況調査生徒質問紙より

- 自分には良いところがあると思いますか。

本校 38% が否定的な回答

- 難しいことも、失敗を恐れず挑戦していますか

本校 37% が否定的な回答

- 自分の考えや意見の発表は得意ですか

本校 59% が否定的な回答

- 家で授業の補習をしていますか

本校 58% が否定的な回答

学力向上計画

1 生徒の実態

全国学力・学習状況調査 生徒質問紙より

自分の成長を
自信に変える
自己肯定感

失敗を恐れず
挑戦

学力向上の糸口

自分の考えを
伝える

進んで
復習

学力向上計画

2 基本方針

基礎的・基本的な知識
・技能の習得と活用

推進部を新設
対策

地域家庭
との連携
授業改善

課題

学力向上
コーディネーター
対策

課題

指導力の
向上
対策

校内研修

指導体制
の工夫

課題

推進部を新設

学力向上計画

3 組織

校長

教頭

学力向上委員会

校長・教頭・学力向上コーディネーター・研修主任・教務・研修推進委員

教員の指導力
向上推進部

研修推進委員

指導体制の工夫
・改善推進部

生徒指導委員会
各学年部会

家庭・地域との
連携推進部

PTA広報、Web担当
各学年部会

校内研修全体会

学力向上計画

4 具体的な取組

学力向上委員会

★ 本年度より、月2回の定期実施

校長・教頭・学力向上コーディネーター・研修主任・教務・研修推進委員

教育課程の充実・改善に取り組む

4月 6月 8月 10月 12月 2月 4月

CRTテスト結果分析

実践の振り返り

全国学力調査 結果分析・改善策の立案

学力向上計画の提示

実践発表準備

学校評価の取組の改善

学校評価の取組の改善

管理職 及び 学力向上委員 による授業参観 と指導・助言

- 学力向上計画の立案・実施・調整・改善
- 各種検査・調査の計画・実施と結果分析
- 日常的な授業参観の実施と指導・助言

学力向上計画

4 具体的な取組

教員の指導力向上 推進部
研修推進委員



教員の授業力の向上に取り組む

4月 6月 8月 10月 12月 2月 4月

研修主題の決定

前期訪問指導準備

教科部会

一人1研究授業
・授業検討会

研修の成果と
課題の検討

研修計画の立案

後期訪問指導準備

授業公開準備

研修報告書作成

模擬授業 検証アンケートの実施

次年度方
針の検討

教員相互の日常的な授業参観(ふらっと参観)

○邑中型授業スタイルの構築

○一人1研究授業とリフレクション型授業検討会の推進

○予習復習と授業に関するリーフレットの活用

学力向上計画

4 具体的な取組

指導体制の工夫・改善推進部

生徒指導委員会・各学年部会



朝学習 火・木 曜日

学習規律と補習体制の改善充実

4月 6月 8月 10月 12月 2月 4月

学習ルール徹底

補習実施

補習実施

補習実施

授業者セルフチェック

補習実施

補習実施

次年度方針の検討

チャイムスタート・チャイムエンドの徹底

○学習規律の構築

○補習体制の構築

○授業者セルフチェックの推進



「分かる喜び」を味わわせる補習

学力向上計画

4 具体的な取組

家庭・地域との連携推進部

PTA広報、Web担当、各学年部会

授業と家庭学習の連携・改善

4月 6月 8月 10月 12月 2月 4月

学年・学級通信による家庭学習の啓発

PTA広報にて特集

学校ブログの公開

学校ブログのガイドライン作り

○各種通信で家庭学習を啓発

○PTA広報、学校Webページで学校の学力向上に関する取組を発信

学力向上計画

4 具体的な取組



本日の公開授業の視点

本校で目指す授業＝「邑中型授業」の重点 **伸ばしたい
資質・能力**

生徒の学習意欲を高めるめあての提示

毎時間の教師の工夫



本時において
導き出したい生徒の姿・反応

**失敗を恐れず
挑戦**

生徒が自ら考え、判断し、表現し、課題を解決する時間

毎時間の教師の工夫



本時において
導き出したい生徒の姿・反応

**自分の考えを
伝える**

本時の学習内容を定着させ、自己肯定感を育む振り返り

毎時間の教師の工夫



本時において
導き出したい生徒の姿・反応

自己肯定感

チャイム エンド

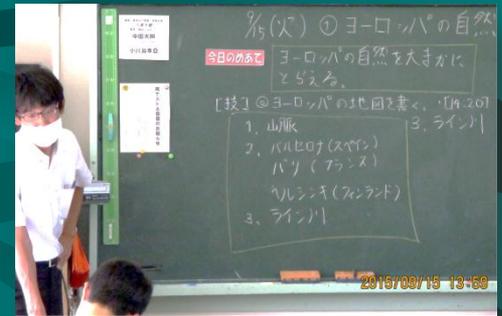
生徒の思考力・判断力・表現力を育む

進んで復習

授業1

社会科授業 第1学年

単元名「3章 世界の諸地域」



授業者 早乙女 武之

○ 本時のねらい

アメリカ合衆国が世界の農産物の輸出量において大きな割合を占める理由を、気候・生産方法・経営方法(企業)のいずれかの視点で説明することができる。

視点 1本時で、生徒に身につけさせたい資質・能力は適切か？

- ・ 文章で表したり、相手に説明したりする力
- ・ 複数の資料を関連付けて読み取ることができる力

授業の視点 視点2 3つの手立ては適切か？

生徒の学習意欲を高めるめあての提示

「なぜ、アメリカは多くの農産物を輸出できるのかを調べよう」

- ・世界の国別の農産物輸出量のグラフを提示し、1位を当てさせる。
- ・アメリカ農産物の実物を提示し、課題を身近にとらえさせる。



- ・「アメリカはすごい」「なぜ、アメリカは農産物の輸出が多いのか？」などの心情を持ち、今後の課題解決に意欲がわく。

生徒が自ら考え、判断し、表現し、課題を解決する時間

- ・まず、複数の資料を比較・選択させ自分の考えをまとめさせる。次に、グループで考えを発表する。よいと思った考えを選ばせ、その理由を書く。



- ・「なるほど。」「そういう考えもあるのか。」といった心情をもち、様々な資料を関連付けて読み取り、相手に説明する力を高め合う。

本時の学習内容を定着させ、自己肯定感を育む振り返り

- ・身についた資質・能力を引き出す教師の発問。



- ・「わかった」「できた」などの心情により自己肯定感が高まる。

チャイム エンド

文章で表したり、相手に説明したりする力

複数の資料を関連付けて読み取ることができる力

授業の視点1

数学科授業 第2学年

単元名「平行と合同(少人数)」



授業者 佐藤 圭

○ 本時のねらい

多角形の内角の和の求め方について、三角形の内角の和に帰着して説明することができる。

視点1 本時で、生徒に身につけさせたい資質・能力は適切か？

- ・帰納や類推を用いて図形の性質を推論する考え方
- ・すでに説明できた図形の性質を用いて説明する演繹的な考え方

授業の視点 視点2 3つの手立ては適切か？

生徒の学習意欲を高めるめあての提示

「多角形の内角の和の求め方について説明できるようにしよう。」

・三角形の内角の和を根拠に、四角形の内角の和を求める方法をいくつか紹介し、他の多角形も同じようにして調べられないかと問いかける。



・いくつかの方法があることに興味を持ち、「自分も考えてみたい。」という意欲を持つ。

生徒が自ら考え、判断し、表現し課題を解決する時間

・グループごとに異なる多角形を与え内角の和を考えさせる。
・個人で考えた後、「オススメの内角の求め方」グループで考えさせる。



・「自分の考えが役に立った。」「みんなの考えをあわせて、新たな考えが分かった。」など、既習の図形の性質を用いて説明する演繹的な考え方を持つ。

本時の学習内容を定着させ、自己肯定感を育む振り返り

・問題演習の際、ペア学習を取り入れ、互いに説明し合わせる。



・「求め方が使えた。」「自分で説明できた。」などの心情を持ち、自己肯定感が高まる

チャイム エンド

帰納や類推を用いて図形の性質を推論する考え方

すでに説明できた図形の性質を用いて説明する演繹的な考え方



**あきらめさせない！
あきさせない！
それが邑中 教員魂** 



平成27年度 邑楽中学校 学力向上スローガン



ご静聴

ありがとうございました。

Welcom to
Ohra junior high school